

# 角高だより

HP <http://kakuko.myswan.ed.jp/> Email kakuko@od.myswan.ed.jp



宮城県角田高等学校  
〒981-1505  
宮城県角田市角田字牛館1  
☎ 0224-63-3001  
FAX 0224-63-0523

## 男子バドミントン部団体県3位 ～東北大会出場～

11月6日(金)～8日(日)まで仙台市体育館で行われた宮城県高等学校新人大会バドミントン競技で男子バドミントン部が団体3位に入賞し、来年1月に秋田で行われる東北大会への出場を決めました。団体でベスト4に入った公立高校は男女を通して本校だけの快挙でした。シード決定戦では僅差で敗れてしまいましたが、この悔しさは東北大会での活躍につなげてくれることと思います。

令和2年度宮城県高等学校新人大会バドミントン競技

【第3位】(東北大会出場権獲得)

2回戦	角田	3-1	佐沼
3回戦	角田	3-0	登米
4回戦	角田	3-0	白石
5回戦	角田	3-1	宮城工
準決勝	角田	1-3	東北
シード決定戦	角田	2-3	東北学院



東北大会出場を喜ぶ男子バドミントン部員

## 外部講師活用による校内研修 「にここ先生」 椿原正和先生

11月19日(木)に外部講師活用による教員対象の校内研修を行いました。講師には教授法創造研究所代表の椿原正和先生をお招きし、実際に高校2年生37名に授業をしていただきました。椿原先生は、元々は熊本県の小学校の教員をしていたのですが、PISAにおける日本の子どもたちの国語の読解力の低さに危機感を持ち、定年前に退職されて、全国を回って国語の「基礎的読解力」指導法を広めて子どもたちの読解力向上に努めておられます。今回の講義では、実際に大学入学共通テストのプレテストで出題された正答率が1%を下回る問題を、テンポよく順序立てて生徒たちに解かせてくださいました。生徒からは「現代文で、小説は比較的得意でしたが、評論は苦手です特に記述問題では頭を悩ませていました。今回の講義では、先生の話し方や教え方がとても分かりやすく、どこが大切か、今伝えたいことが何なのかスムーズに頭に入ってきました。現代文の授業でこんなに充実していて問題を解くことが楽しいと感じたのは初めてです。」などの感想が寄せられ、普段辛口の授業評価をする生徒からも大変好評でした。その後の教員研修でも「指導法を教えるのはいつも生徒なのですよ」など明日からの授業をがんばろうと思わせる言葉をたくさんいただきました。



国語の記述式問題の解き方の解説



教員対象の研修

## 大学出張講義

10月23日(金)に1・2年生を対象として大学出張講義を実施しました。13大学等から14講座を開講し、1人2講座を受講するという形式でした。「宇宙へ行くってどういうこと。」という講義では、JAXAの講師の先生がロケットの構造などを高校生にも分かりやすく興味深い話をしてくださいました。また、宮城教育大学の先生は「特別支援教育―見えない、見えにくいとは」という講義で、アイマスクを使用して全盲の人が実際にどのように感じているかを体験する授業を行いました。また、ボールペンで書くとその文字が浮き上がる紙を使用して、その文字をアイマスクをしたまま指先の感覚だけで読んでみる体験なども行い、生徒たちは楽しみながら活動していました。



## 火災想定防災避難訓練

10月28日(水)に火災想定での防災避難訓練を行いました。家庭科実習棟から出火したとの想定で防火扉を閉めた状態で全員がグラウンドに避難しました。密にならずに避難するのは大変でしたが、生徒たちは落ち着いて避難しました。その後、講話や消火訓練を行い、緊急時の対応などに関して意識を高めていました。



## 1年国際理解活動

10月29日(木)に1年生が国際理解活動を行いました。昨年は台風19号により中止になったため、2年ぶりの開催となります。本来であれば体育館で小グループごと車座になって直接話をするところですが、今年は新型コロナウイルス感染症のため、教室でオンライン開催となりました。講師はラオスとイギリスの方で、文化紹介をしていただきました。特にラオスは日本でもなかなかなじみがないため、言語一つとっても新鮮で生徒たちも教えられた挨拶を盛んに口にしました。



1年生のオンラインによる交流